

CMSC JOURNAL

Vol.11

優勝!

館山正嗣/永沢裕之組



今年の東北チャンピオン候補へア、その実力はさすが!

'86 JMRC 東北ラリーチャンピオンシリーズ第2戦

岩手三菱ダイヤモンドラリー 6月7日(土)・8日(日) CMSC岩手主催



着実な走りに定評ある齊藤伸二/仲野次郎組は2位



「コンピューターがなんだ、走れば楽し」小川日出生/小田切順之(山形)



早着、早着、あ々早着。高橋光男/崎山博之(福島)



福島の若きラリースト、足立琢/高橋修は4位



「ひさしぶりのナビで7位は上出来!」白戸博志/鶴ヶ谷慶市(青森)



「減点3ケタ、悔しさ3ケタ」佐藤彰洋/横山悟組(青森)



今後が期待される青森の工藤清人/尊馬伸哉組



急きょコンビを組んで6位、原子文磨/葛西一省(青森)



青森の一戸幸正/石井隆夫組はコルディア4WD

6月7日(土)・8日(日) '86JMRC東北ラリーチャンピオンシリーズ第2戦岩手三菱ダイヤモンドラリー

CMSCから9台がエントリー

盛岡近郊、御大堂を中心とした300km、2ステージ制で行なわれた岩手三菱ダイヤモンドラリー。JAFの車両規定変更のため、参加台数に不安があったが、蓋を開けてみると40台ものエントリー。なかでも三菱勢は15台という盛況ぶりであった。

CMSC青森からは白戸博志/鶴ヶ谷慶市組コルディア4WDを始め、館山正嗣/永沢裕之組コルディア4WD、原子女磨/葛西一省組ランサー、佐藤彰洋/横山悟組ランサー、工藤清人/尊馬伸哉組ランサー、一戸幸正/石井隆夫組コルディア4WDの6台が参加。

「今日はナビですが、ラリーは6年ぶり。こういう時期だからこそ、ラリーをたのしみたい」と鶴ヶ谷さんの力強い言葉。「でも鶴ヶ谷さんは車に酔いやすくて…、大丈夫かな」とクラブ員は心配顔であった。

CMSC山形の小川会長も全日本ナビの小田切順之さんと再度コンビを組み、スタリオン

ならぬコルディア4WDで参戦していた。

CMSC福島からは昨年のチャンピオン高橋光男/崎山博之組がランサーで、足立琢/高橋修がコルディア4WDで参加。CMSCから合計9台が出場していた。

午後8時スタート。1ステが始まったばかりで2台がコースアウト、谷に落ちたとの連絡が入り、一同ヒヤッ。しかしクルーは無事とのことで一安心。1ステが終わり、給油。「1CP-3CPが面白いところだね。」という言葉も聞かれ、好評のうちに再スタート。

2ステはアベも高く、ガレ場もあるルート。Aクラスで4台がバースト、リタイアした。昨年と同じ天峰山薬宝院でゴールとなった。たいしたトラブルもなく無事終了。結果は館山/永沢組のコルディア4WDが全日本ラリー選手権第2戦DCCSウインターラリー6位の實力を發揮、ひさしぶりのダートラリーを優勝で飾った。

●岩手三菱ダイヤモンドラリー結果

順位	ゲッケン	ドライバー/ナビゲーター	車両	三菱賞
1	2	館山正嗣/永沢裕之	コルディア4WD	1
2	3	斉藤伸二/仲野次郎	コルディア4WD	2
3	5	栗田律雄/中村和子	ファミリア4WD	
4	8	足立琢/高橋修	コルディア4WD	3
5	27	菊池英則/吉田順一	カローラレビン	
6	17	原子女磨/葛西一省	ランサー	
7	31	白戸博志/鶴ヶ谷慶市	コルディア4WD	
8	22	鈴木俊夫/庄子誠	ランサー	
9	6	山田典昭/吉田和夫	カローラレビン	
10	12	奥山高志/浅沼高典	カローラレビン	

三菱賞(左から)2位斉藤、1位館山、3位足立



優勝した館山/永沢のスタート



御大堂のV字コーナー、斉藤/仲野組コルディア4WD

足立/高橋組コルディア4WDは惜しくも4位

CMSC岐阜 水野国幸

4月22日(日) '86ダートラ練習会

これからも練習会を行ない、クラブ員のレベル向上を目指します!

'86年度総会で決定した当クラブ最大の行事、恵那郡明智町の山林で'86年ダートラ練習会を行ないました。

昨年と同じ場所で行い、今年で2回目。参加者47名の中には当クラブ独自の4WD部門のメンバーやその家族も含まれ、大変賑やかな練習会となりました。午前中はまずまずの天候で各クラブ員がコースを砂煙巻き上げ疾走し、4WD部門もジープやバジェロなどが坂道

や凹凸道を10台でデモンストレーションするなど、見ても楽しい練習会となりました。

昼食は野外バーベキューを行い、参加者全員の親睦を図ることができ、大好評。昼すぎからは雨となり、記録も伸びず残念でした。

これからもどんどん練習会を実施し、若いクラブ員のレベルを向上させ、実践に臨めるよう全員で頑張りたいと思います。

楽しみながら、テクニックの向上を目指す、岐阜のみなさん



CMSC栃木 町田俊英

5月11日(日) '86スリータイヤメントトライアル(栃木県ダートトライアルシリーズ第3戦)

定評ある運営で無事終了!

CMSC栃木では5月11日(日)、'86スリーダイヤモンドトライアルを開催した。

この競技会はスピード行事C地区でも人気のある栃木県ダートトライアルシリーズの第3戦。県内外より93台のエントリーがあった。会場は東北自動車道栃木インターより車で7、8分ところにある砂利採取場跡。丸和オートランドができる前からダートラに使用されているもの。今回は右回りをメインとした中・

高速1.5km程のコースを設定した。

当日は雲の多いドライコンディション。オフィシャルは防埃マスクをつけて大奮戦となった。昨年転倒車などがありギャラリーを沸かせたが、今年はコース管理や設定がよかったのか、ドライバーの技量がよかったのか車両のダメージは皆無。CMSC栃木の定評あるスムーズな進行もあり、午後3時には表彰式を含め、競技の全てが無事終了しました。



無事終了、ホッを一息 栃木のみなさん



松本建典会長のあいさつ(マイク)



おたすけマンが走る

「あーもう、イヤ、この土埃!」

4月23日(日) 第5回CMSCダートトライアル(山形県ダートトライアルシリーズ第2戦)

急きょ開催、クラブ員全員の活躍で大成功!

残雪も消え、絶好のトライアル日和となった4月23日(日)。第5回CMSCダートトライアルを神町自衛隊敷地内の特設コースで開催しました。コースはRACラリーを思い浮かべるような立木の中、屈曲の多いフラットコースで、テクニカルでハイスピードな競技となりました。山形三菱の山並次長を始め、ギャラリーも多数。お祭りのような賑わいとなりました。

コルディア4WDとファミリア4WDの対決となったBIIクラス。昨年の大会での優勝者、鈴木一彦操るコルディア4WDとファミリア4WDの差は1秒なく、白熱した展開となった。しかし鈴木選手、2回目のトライアルでタイムが縮まらず、三菱賞は手にしたものの、3位にとどまりました。

CIIクラスではA73がまだ健在で、椎名選手がクラスウィナーとなりました。

なお、本大会は山形県内のモータースポーツ底辺拡大の意味があったわけですが、クロード部門に25台も集まり、嬉しいかぎり。予期せぬ女性ドライバーの参加もあり、大会に花を添えてくれました。

開催まで忙しく、クラブ員に苦勞がけましたが、みんなの協力で何ひとつ事故もなく無事終了。10月には県シリーズ最終戦を計画しています。月山サーキットのオープンに合わせ、盛大なイベントを計画中でですので、今後ともよろしくお願いします。



急きょレディースクラスにエントリーした、古沢靖子さん。これからはガンバって!



忙しい、忙しくて無事終了、山形のみなさん

●結果

BIIクラス

順位	車番	ドライバー	車 両	ベストラップタイム
1	25	栗田 律雄	ファミリア 4WD	1' 33" 277
2	24	金田 至	ファミリア 4WD	1' 34" 220
3	26	鈴木 一彦	コルディア 4WD	1' 37" 033
4	11	会田 衛	ファミリア 4WD	1' 38" 003
5	103	斎藤 貴夫	コルディア 4WD	1' 38" 397

CIIクラス

順位	車番	ドライバー	車 両	ベストラップタイム
1	45	椎名 雄司	ランサー	1' 44" 833
2	42	高橋 仁志	サニー	1' 45" 351
3	43	坪井 武	ランサー	1' 46" 462
4	44	斎藤 実	スプリンター	1' 51" 983
5	46	武田 貴志	サニー	1' 55" 918

CMSC群馬 荒井信介

5月11日(日) '86CMSCトライアルin群馬(群馬ダートトライアルシリーズ第2戦)

初の大会開催に「疲れたー」の一言!

5月11日(日)、吉井町特設コースで開催した'86CMSCトライアルin群馬。朝から天気も良く、スタート前にはほこり対策の散水をしたところ、突然霽りが怪しくなり雨が。一瞬トライ目で終わるかと思いましたが、小雨でやみ、まずは一安心。無事スタート。主催者の日頃の行いが良いのを物語っているようだ。

コースは外周が堅く、内周は柔らかい目のため路面が荒れないような設定としました。単純でアクセルを踏んで走れる約1.2km、1分20秒ほどのコースです。総勢141台中三菱車はたったの7台で、元気に走ってくれたが、タイムは良くない。

途中、3台がアクセルを踏み過ぎて転倒/ドライバーは無事這い出してきたが、転倒などのアクシデントがあるとドキッとする。見物しているほうがいいなあ。

電光管が作動しなくなり数分中断したものの後はこれといったタイムロスもなく、はじめてのイベントにしては、順調に運んだ。終わってみて、全員砂まみれの顔で、疲れたあー。レギュレーションを作ったり、コースを借りたり、賞品やスポンサー探し、道具、小道具、その他、準備が大変。年間一回の開催ペースが精一杯。やはりイベントは、参加するほうが気楽で、楽しいですね。

最後に、ご援助ご協力戴いた方々、ご迷惑をおかけした方々へ、ありがとうございました。



レディースクラス、秋津貴子コルディア4WDの走り



暑は多いが、朝の大会



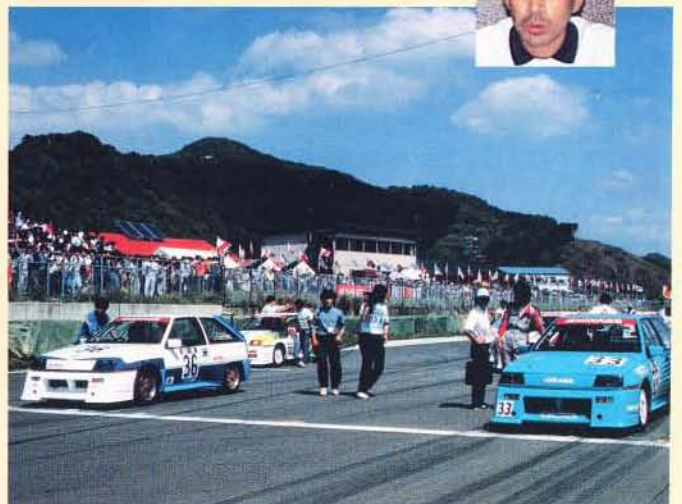
くろあさま、群馬のみなさん

CMSC島根 杉坂啓一

ミラージュカップ観戦記

5月11日(日)、山口県宇部の美祿市にある西日本サーキットで行なわれたミラージュカップをクラブ員と共に観戦。当日はF2の開催もあり、4万人を超える観客でサーキットは超満員でした。ラリーやダートラでよく一緒に知る人も来て、「マシーンがきれいで、ゴージャスで楽しそうなレースだね。」と嬉しい一言。三菱のクラブ関係者として鼻が高い。レースは単調ではあったが、西日本サーキットは初めての選手も多いと聞き、しょうがないかとも思う。ここはアップダウンの激しいテクニカルサーキットですからね。

しかし昨年からの実績に、華やかさが加わってきたミラージュカップが東日本ばかりでなく、西日本でも開催されたことは、何とも嬉しいものです。全国CMSCの若いクラブ員も参加してみてもどうでしょうか。



新車両規定にめげずイベント開催!

写真提供 ©CMSC香川ダートトライアルの大会風景

CMSC帯広 青沼達也 8月24日(日) 第2回アルコ杯ダートトライアル (道東シリーズ第3戦)

道東シリーズの3戦目にあたるこのトライアルは、開催場所を道東初の常設オフロードコース(ダート)4×4レース、モトクロスなど)予定地を借用するが、許可の都合で整備はまた未着手。中央の直線路は幅30m、長さ300mと広いが、全体的には起伏の多い林道コースとなっている。

昨年8月11日(日)の開催時には、2台が山頂に乗り上げ転倒し、「台がコース脇の小川に突っ込んだ」といえば、だいたいこのコース概略は想像していただけたと思う。

今年はコース脇の木も伐採したため、コース横の丘に登れば全コースを見渡せます。見物席からも非常に面白いトライアルになると思います。昨年のラップはランサーターボIC(BII)でしたが、今年はおそらくコルディアとファミリアの4WD勢の戦いが見物といったところではないでしょうか。

CMSC香川 田中昭男 7月13日(日) '86CMSCアストロトライアル (四国ダートトライアル選手権第8戦)

'86CMSCアストロトライアルを香川県の香川スポーツランドで開催します。国内格式の本大会は、四国のダートトライアルの中でも人気が高く、毎年沢山のエントリーを数えますが、今年はJAFの規定が変わり、どうなることやら、ともかく楽しめるイベントにしようと思っております。

今回は走れませんが、クラブ員の白井選手もランサーでシリーズ上位に食い込んでいます。四国のダートはこれから本番です。

CMSC島根 杉坂啓一 8月17日(日) '86CMSC島根ダートトライアル ('86日本海ダートトライアルチャンピオンシリーズ第5戦)

松江市近郊で開催する予定ですが、まだ場所が決まっていないので、トクハタしている最中、エントリー数は100名ほどになると思います。とにかく楽しい大会にしよう、いろいろ計画を立てています。

昨年大活躍の谷口誠二郎選手が今シリーズでもベテランの味を發揮。この大会でもぜひ三菱賞を取って行ってほしいものです。

CMSC栃木 町田俊英 10月4日(土)-5日(日) タイヤスターラリー'86(栃木県フレッシュマン・ラリーシリーズ第6戦)

このほど競技車両に関して新しい解釈がJAFより発表。新解釈は、今後のモータースポーツの運営に大きな影響を投げかけています。他のクラブの方々も大変だろうとおもいます。

CMSC栃木でも10月4日(土)-5日(日)にラリーの主権を予定していますが、このような時期だからこそ開催したいと考えています。場所は想像してもらえませんが、走りがいのある大会にしたいと思っています。お近くの方々ぜひ参加してみてください。

ガンバッテマス! 戦績報告

CMSC島根 見崎千里

雪辱を果し4位入賞!

鳥取県三朝町特設会場で4月13日(日)に開催された日本海シリーズ第1戦。わがCMSC島根からはAB-IIに4名、CD-IIに1名がエントリー。AB-IIクラスは前評判どおり、ファミリア4WDがワンツー独占。三菱勢はランサーを駆る杉坂会長が8位に食い込んだに留まった。一方CD-IIクラスはラリーアートカラーのランサーを作り上げた石川選手が久々のカムバック。ブランクを感じさせないシャープな走りでもって堂々4位に入賞した。

5月4日(日)の第2戦も三朝。第1戦の屈辱をはらしたい思いで会場へ向かうが、小雨

模様。予想どおりコースはヌタヌタ。4WD有利と思われた。直線の多いハイスピードコースだが、案の定アクセル全開にしてもスピードに乗れない。

ゼッケン41の杉坂会長は、1トライ目出足よく、タイムが期待された。しかしパイロンでミス、平凡なタイムに終わる。逆転を狙う2トライ目、路面の状態が良くなり、これなら互角に闘える。杉坂会長、気合い入れてスタート。直線でタイムを稼ぎ、パイロンもうまくこなして、1分34秒82。見事逆転、4位に入賞。雪辱を果した。



ファミリアかかんだ。杉坂ランサー

Dクラス・ランサーの爽快な走り

●日本海ダートトライアルシリーズ

第1戦 CD-IIクラス結果

順位	ドライバー	車両	ベストラップタイム
1	中山敏正	カローラ	1'20'97
2	山根康生	サニー	1'24'45
3	古奥秀行	カローラ	1'25'34
4	石川謙二	ランサー	1'26'57
5	向井 篤	サニー	1'27'55

第2戦 AB-IIクラス結果

順位	ドライバー	車両	ベストラップタイム
1	中蘭正信	スプリンター	1'32'57
2	大水幸男	スプリンター	1'33'83
3	岩本全弘	カローラ	1'34'16
4	杉坂啓一	ランサー	1'34'82
5	母里健一	ミラージュ	1'35'02

CMSC岐阜
浅野博孝

浅野/子田組ランサー、クラス2位

3月29日(土)30日(日)に行なわれた長野県ジュニアラリーチャンピオンシリーズ第1戦、FRCラリースプリング・プラクティス'86。浅野/子田組ランサーがクラス2位に入りました。コースは前日より大雪になり、当日はタイヤ選択に迷いましたが、サービス隊もいないためスパイクタイヤで勝負!それが好結果につながったようです。

●長野県ジュニアラリーチャンピオンシリーズ第1戦 Cクラス結果

順位	ドライバー/ナビゲーター	車両
1	高木一秀/柴 積一	スプリンタートレノ
2	浅野博孝/子田尋重	ランサー
3	見小田喜則/大日向 豊	スプリンタートレノ



雪道、山道なんのその。浅野/子田組ランサー

'86CMSCチャレンジカップ 中間発表! (5月現在)

全国CMSCの連帯・会員相互の仲間意識を高めるために設けられた、CMSCチャレンジカップ。JAFの車両規定が新しくなり、イベントの開催や参加など、いろいろと大変だと思えます。こんな時だからこそ、このチャレンジカップをとらして日本のモータースポーツ全体を盛り立てて行くようではありませんか。

クラブ名	ポイント	クラブ名	ポイント
CMSC札幌	0	CMSC栃木	8
CMSC帯広	165	CMSC群馬	51
CMSC青森	38	CMSC岐阜	21
CMSC岩手	0	CMSC島根	34
CMSC山形	39	CMSC香川	34
CMSC福島	33		

※お忙しいところすいませんが、早めのご協力をお願いします。